

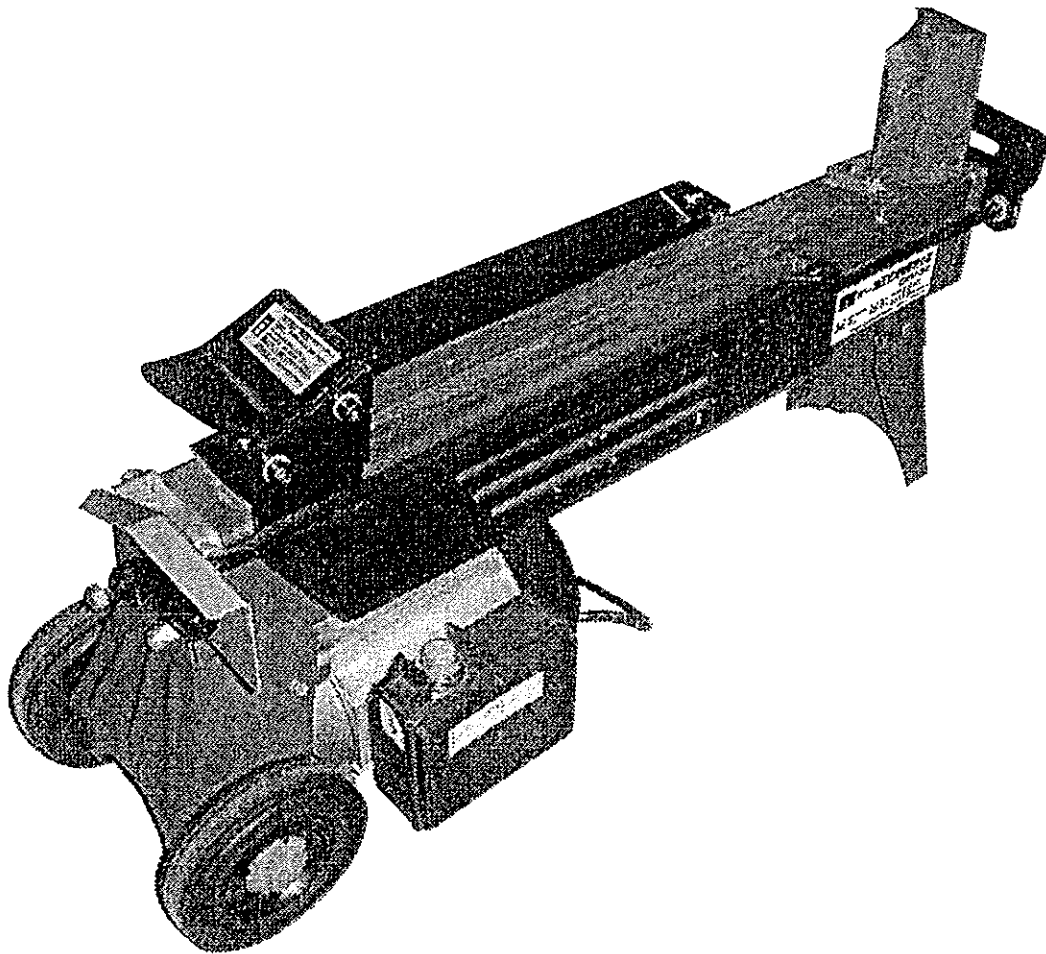


Fujiwara
Sangyo Co.,Ltd.
HYOGO MIKI

取扱説明書

油圧式電動薪割り機

CWM-52



- ご使用前に取扱説明書をよくお読み下さい
- この説明書は大切に保管しておいて下さい

目次

製品仕様	1	作業方法・移動方法	8~11
安全上のご注意	2~6	オイルの交換方法	12~13
各部名称	7	故障かな?と思ったら	14

〔製品仕様〕

油圧式電動薪割り機 CWM-52

この度は、**SK11** 油圧式電動薪割り機 CWM-52をお買い求めいただきありがとうございます。

ご使用の際は、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。

用途

・ 薪割り

特長

- ・ 効率良く簡単に薪を割る事が出来ます。
- ・ 油圧式なので、静かに作業が出来ます。
- ・ 大型タイヤ付で移動が楽に出来ます。

仕様

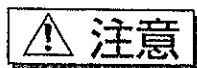
品名	油圧式電動薪割り機
型式	CWM-52
電源	100V-50Hz/60Hz
消費電流	15A
消費電力	1500W
油圧	9MPa
オイル容量	3.5ℓ
薪割り力	約2トン
薪割り能力目安 直径	約5~25cm
長さ	約20~52cm
本体質量	42kg
本体サイズ	幅940×奥行270×高さ510 (mm)

※薪割り力、能力は木材の材質や乾燥状態によって異なります。


表示内容の説明と安全上のご注意は以下のようになっていますので必ず内容を理解してから本製品をお使い下さい。



この表示の欄には使用者が誤った取扱いをした時に、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄には使用者が誤った取扱いをした時に、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

なお、に書かれた内容でも状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な項目を記載していますので必ずお守り下さい。



製品及び付属品の取扱い等に関する重要な内容です。

※ 本書を紛失・損傷された場合や、不明なこと・お気付きのことがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

電動工具としての共通の警告・注意事項

警告 作業する場所について

- 作業場は整頓し、キレイな所で作業するようにして下さい。
- 作業をする際の周囲の状況にも考慮して安全に作業をして下さい。
 - ・ 雨中で使用したり、湿った又は、濡れた機械を使用すると思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 可燃性の液体やガスのある場所での使用は絶対にしないで下さい。
 - 又、作業場近くには、置かないで下さい。
 - ・ 火災や爆破、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・ 暗い場所での作業は、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 作業をする際は、作業者の半径5m以内の周囲に作業者以外の人を近づけないで下さい。
 - ・ 思わぬ事故の原因となり大変危険です。

警告 作業をする時の服装について

- 作業者は、作業に適した服装で作業をして下さい。
 - ・ 長袖、長ズボン、帽子（ヘルメット）、防じん眼鏡、防災面、手袋、マスク等を身に付け、安全に作業をして下さい。
 - ・ 作業に適さない服装は、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 作業者は作業中にだぶだぶの衣服やネックレス、ネクタイ等は着用しないで下さい。又、長い髪は、帽子やヘアバンド等で覆って下さい。
 - ・ 作動部に巻き込まれ思わぬ事故の原因となります。

警告 電源について

- 使用電源は、100V15A以上のコンセントをご使用下さい。
 - ・ コンセントの容量が不足すると、モーター回転に異常（高速回転や低速回転）が発生し、機体が破損する恐れがあり大変危険です。
- 本機は100V専用機種です。
 - ・ 200Vの入力、使用は絶対にしないで下さい。
 - ・ 誤って200Vを入力すると、本機の故障の原因となり大変危険です。
- 電源コード、電源プラグは乱暴に取り扱わないで下さい。
 - ・ コードを持って電源プラグを抜いたり、本機を運んだりしないで下さい。電源コードの配線が切断される恐れがあり、故障や思わぬ事故の原因となり大変危険です。
 - ※ 電源プラグの抜き差しは、先端の電源プラグを持ち安全に抜き差しして下さい。
 - ※ 本機の移動、運搬は本機の取っ手等をしっかり持ち運搬、移動をおこなって下さい。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。
 - ・ 重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、漏電、ショートにより火災や思わぬ事故の原因となり大変危険です。

警告 取扱いについて

- 本機を使用する際は、取扱い方法、作業の仕方、周囲の状況を十分に注意して作業をして下さい。
- 作業、ご使用前に、本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、亀裂がないか、ネジが確実に締まっているかを確認して下さい。
 - ・ネジの緩みや本機のひび割れ、亀裂等ある際は、ご使用を控え、当社、もしくは販売店迄ご連絡下さい。
 - ・思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 無理な姿勢、無理な場所での作業はしないで下さい。又、常に足元をしっかりと固定し、周囲の安全を確かめ作業をおこなって下さい。
 - ・無理な姿勢無理な場所で作業をしますと、思わぬ事故の原因となり大変危険です。

警告 保管・管理について

- 本機を使用しない際は、本機に取り付いている、ゴミ、塵、他（作業で付着した物）等をキレイに取り除き、手入れをして湿気の少ない場所に保管して下さい。
- お子様の手の届いたり、簡単に持ち出せる場所も避けて下さい。
- 直射日光のあたる場所や、振動の多い場所も避けて下さい。
 - ・本機の故障の原因となります。

警告 修理・点検について

- 本機を取扱説明書に記載されている、本体分解以外は絶対におこなわないで下さい。
- 本体の改造は絶対におこなわないで下さい。
- 修理技術者以外の方は、修理をしないで下さい。
 - ・修理は必ず、お買い求めの販売店へご連絡下さい。異常動作をして発火したり、本機の破損、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 本取扱説明書に記載されている、用途、使用方法以外は使用しないで下さい。
 - ・誤った使用は、本機の故障、思わぬ事故の原因となり大変危険です。

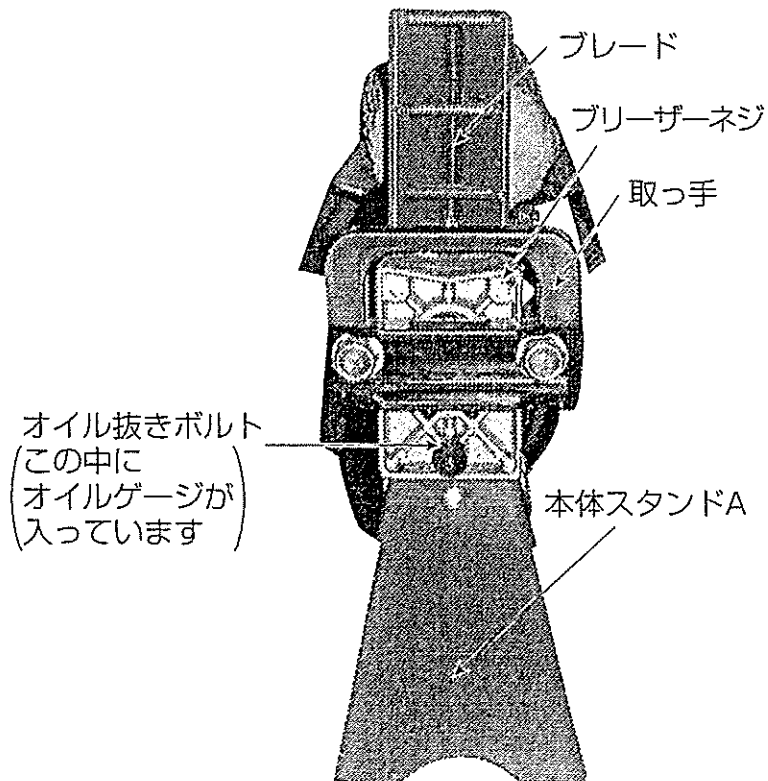
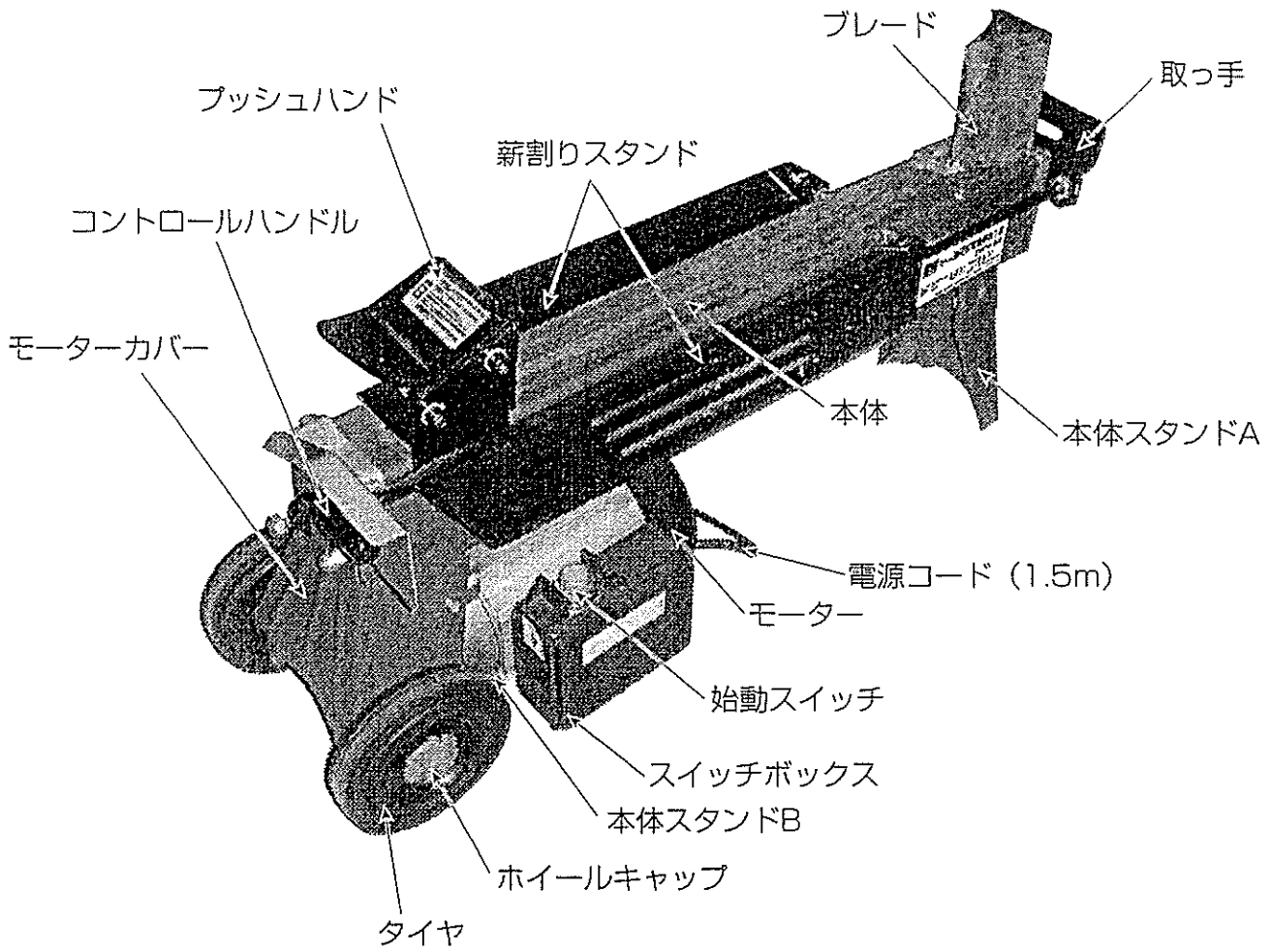
警告 油圧式薪割り機について

- 【Ⅰ】本紙取扱説明書を熟読し理解して、本機に付いている警告ラベル等を確認し、理解して安全にご使用下さい。
- 【Ⅱ】作業をする際は、作業者の半径5m以内の周囲に作業者以外の人を近づけないで下さい。
 - ・思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- 【Ⅲ】アースを必ず取って下さい。
 - ・本体電源コードのアースをご使用下さい。
 - ・ご使用できない際は、電気工事専門業者と相談しアースを取って下さい。
- 【Ⅳ】本機を硬い水平の場所に設置し作業をして下さい。
 - ・急斜面や足場の悪い所での設置、作業は事故の原因となり大変危険です。
- 【Ⅴ】本機の運転中（始動している時）は、薪割りスタンド上の「薪、及びプッシュハンド、ブレード」には触れないで下さい。
- 【Ⅵ】割る薪に、釘や異物がない事を確認して下さい。
 - ・異物がある際は、取除いてから作業をして下さい。
 - ・薪の両端は、直角でないとう滑って危険です。直角に切ってからセットして下さい。
 - ・枝は幹から切り落として下さい。
- 【Ⅶ】本機を使用する際は、コントロールハンドル側で操作（作業）をして下さい。
- 【Ⅷ】スイッチボックス及び、プッシュハンド部は分解しないで下さい。
- 【Ⅸ】作業を終える時は、スイッチを切り、モーターが確実に停止している事を確認してから電源を抜いた後、本機の移動、清掃をおこなって下さい。
- 【Ⅹ】発電機使用は、2,000Wクラス以上でのご使用をおすすめします。

注意 油圧式薪割り機について

- 【I】作業前に、本機に亀裂、損傷がないか、又、本機のネジの緩みがないか点検して下さい。又、作業中も時々点検し亀裂等見つかった際は、交換、修理して下さい。
- 【II】本機は、一般家庭用として開発された商品です。業務用には使用しないで下さい。下記の環境範囲で使用して下さい。
 - ・気温 5°~40°C (輸送、保管は-25°~55°C)
 - ・標高 1000M以下
- 【III】市販の延長コードをご使用になられる際は、屋外用2.0mm²電気容量15A以上の製品をご使用下さい。
- 【IV】本機を延長して使用される場合は、30m以内でご使用下さい。
 - ・30m以上でご使用になられますと、電圧の低下にて誤作動を起こす場合があります。
- 【V】使用済みのオイルは、都道府県で定められた、回収方法に従って処理して下さい。
 - ・排水溝や池、川、土壇等に捨てないで下さい。

各部名称



■ 外観、付属品の確認

- 本機は、工場出荷の際に、厳重な検査をしておりますが、念の為、本体の破損、ネジ類の締め具合を点検して下さい。

⚠ 注意 設置・確認

- ・油圧オイルが適量入っているかを確認して下さい。12頁（オイル交換）参照
- ・できるだけ延長せずにコンセントより、直接電源を取って下さい。
- ・本機設置は、水はけの良い平らな場所に設置して下さい。

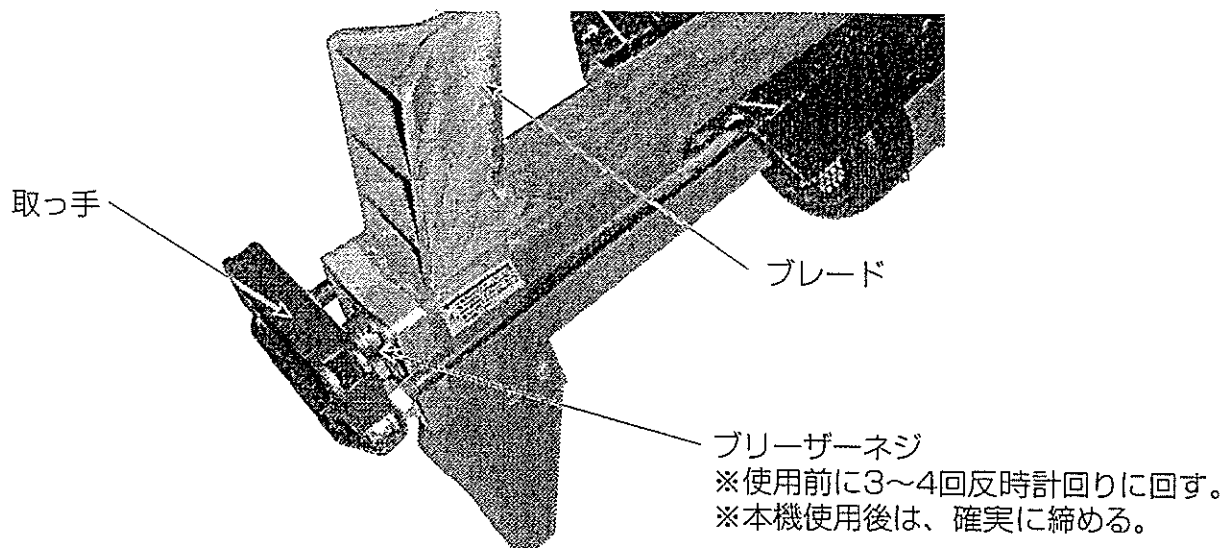
■ 電源プラグをコンセントに差込みます。**⚠ 警告 電源・スイッチの取扱いについて**

- ・使用電源は、必ず銘板に記載されている電源をご使用下さい。
- ・不意の始動は、安全の為、避けて下さい。
- ・感電防止の為、アースを必ず取って下さい。本機のアース線がご使用になれない際は、本機よりアースを取って下さい。
（アース取り付け方法は、市販のアース線で取る際も、電気工事専門業者に相談して下さい。）
- ・本機は、防滴スイッチを採用していますが、モーター部には、水がかからないよう注意して下さい。

❶ ご使用前に必ず、ブリーザーネジを3～4回反時計方向に回して下さい。(本機内へのエア(空気)の出入口になります。)

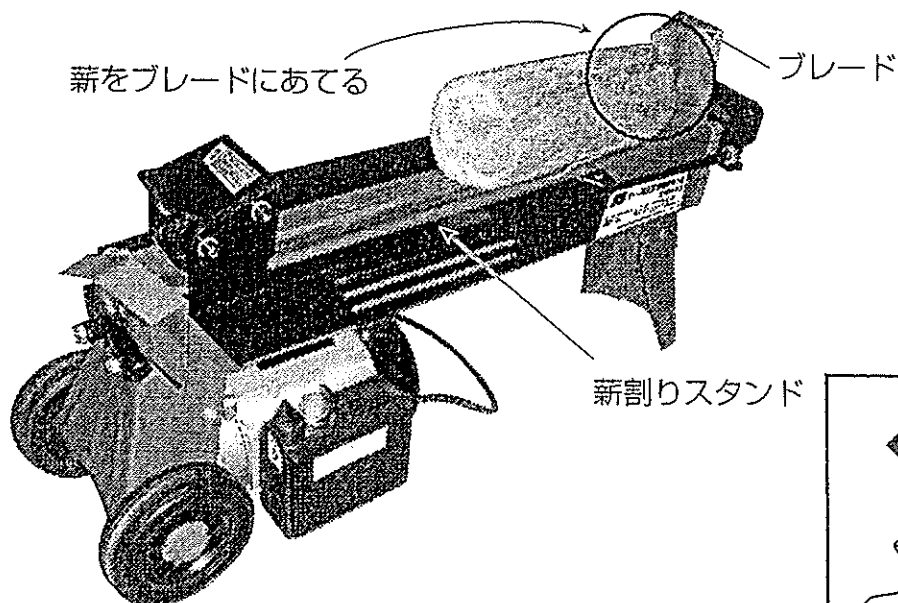
●ブリーザーネジは緩めた状態で本機をご使用下さい。

注 本機での作業終了時に、ブリーザーネジを確実に締めて下さい。

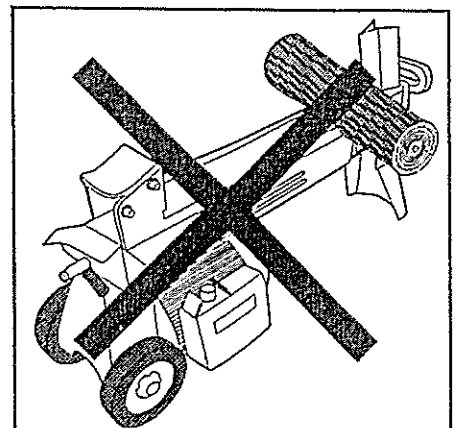


❷ 薪を本機の薪割りスタンドに置いて下さい。

●ブレードに薪を木目に沿ってあて、縦で割れる様に薪をセットして下さい。



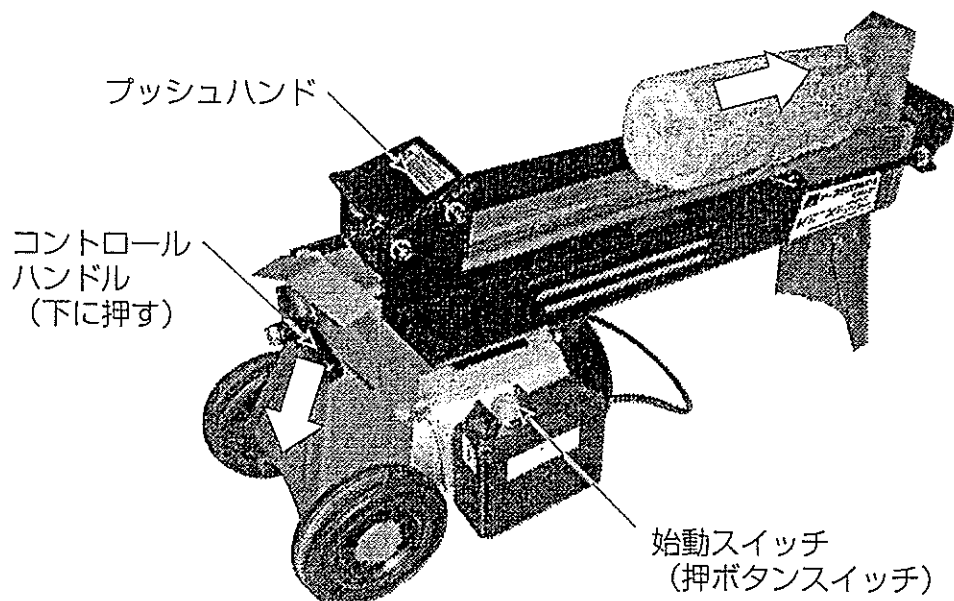
注 薪には必ず、木目(縦)でセットして下さい。薪を本機に対し横向きでセットすると思わぬ事故の原因となり大変危険です。



③始動スイッチを押すと本機に電源が入ります。

※始動スイッチは手動です。離すと電源は切れます。

⇒始動スイッチを押した状態で、コントロールハンドルを下に押し下げて下さい。⇒プッシュハンドが、ブレードの方向に進みます。⇒そのまま押し続けると、プッシュハンドが薪を油圧で押し、ブレードを利用して薪を割ります。⇒薪を割った後は、始動スイッチ、コントロールハンドルを共に離して下さい。自動でプッシュハンドが元の位置に戻ります。



ポイント

- 薪の材質・硬度によって割れにくい薪もあります。
- 数秒間経っても割れない時は、薪の向きを替え、薪を90°回転させセットし逆方向から作業をして下さい。
- ※この作業で割れない薪は、本機的能力では、割る事は出来ません。

- | | |
|----------|--|
| 注 | ・加圧（始動スイッチとコントロールスイッチを両方とも押している状態）後、5秒以上経っても薪が割れない場合は、運転を中止して下さい。5秒以上圧力を掛けると、機械の破損、モーター損傷及び、思わぬ事故の原因となり大変危険です。 |
| 注 | ・薪は必ず、1個ずつ機械にセットし割って下さい。2個以上同時に機械にセットして割る事は、機械の故障及び、思わぬ事故の原因となり大変危険です。絶対にして下さい。 |

④作業終了時

●作業が終了したら、ブリーザーネジを確実に締めて下さい。

- 注** 締め忘れは、内部に水分やホコリが入り、本機の故障の原因となる恐れがあります。

■本機の取っ手をしっかりと持ち、本機をタイヤ側に約10cm持ち上げます。本体スタンドAと本体スタンドBが地面より浮いている事を確認してから本機の移動を開始して下さい。

注

・本機は、本体スタンドA・Bで本機の平行を保っている為、通常設置するとタイヤが浮いた状態になります。

本体スタンドA・Bを浮かせないで移動をすると、地面等に本体スタンドA・Bがすれ、本体スタンドの変形につながり本機の平行が保たれなくなる可能性が有りますので、必ず浮かしてから、タイヤで移動をして下さい。

・本機の移動時はブリーザーネジが確実に締まっている事を確認して下さい。



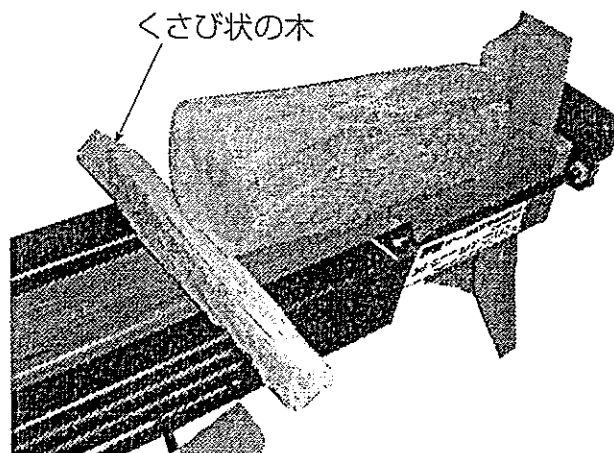
本体スタンドA・Bを地面から浮かせて移動する

詰まった薪を取り除く

①始動スイッチ、コントロールハンドルを離して下さい。

②プッシュハンドが後ろに下がり、完全にスタート位置で止まったら、くさび状の木をその薪の下に差し込んで下さい (写真)。

③機械をスタートさせ、くさび状の木を完全にその薪の下に押し込みます。薪が完全に取り出せるまで、より大きな角度のくさび状の木で、上の作業を繰り返します。



⚠ 警告

詰まった薪をたたいて取り出そうとしないで下さい。機械にダメージが加わり、あるいは、薪が突然飛び出して事故を引き起こす可能性があります。

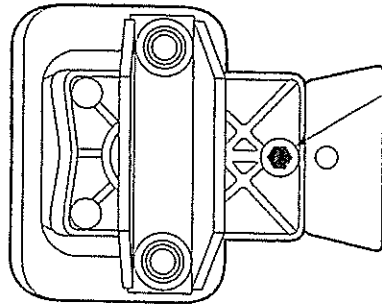
- ※本機のオイル交換の目安は、150時間使用する毎に交換して下さい。
- ※透明のオイルが黒く濁ってきたらオイルを交換して下さい。
- ※オイルゲージの中心よりオイルが少なくなった際は、オイルを足して下さい。

注 オイルの交換方法

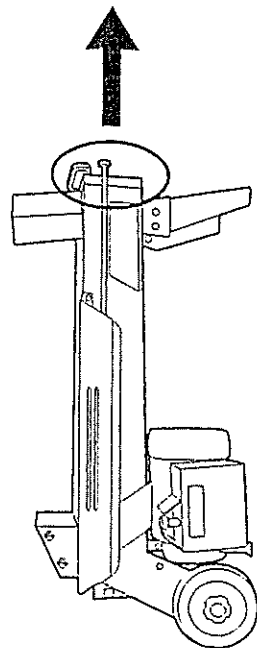
- ・オイル交換の際は、本機の電源を切り（コンセントから抜けている状態）周囲の安全を確認してからおこなって下さい。
- ・オイルは、タービンオイル（油圧機械作動用オイル）32番手をご使用下さい。
（ホームセンター等で、お買い求め下さい。）

- ❶ プッシュハンドが本機のコントロールハンドル側に戻っている事を確認して下さい。
- ❷ 本機の取っ手を持ち、タイヤ側に本機を起こし、本機を立てさせます。
- ❸ 立てた状態で、六角棒レンチ8mm（別売）でオイル抜きボルトを反時計回りに回し外します。

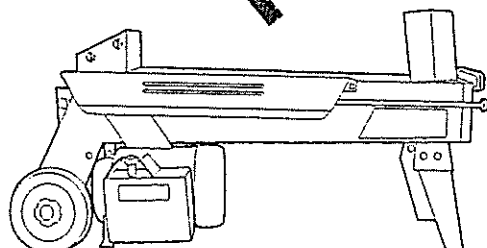
上から見た図 ▶



オイル抜きボルト（オイルゲージ付）
外す際は、反時計回りに回す



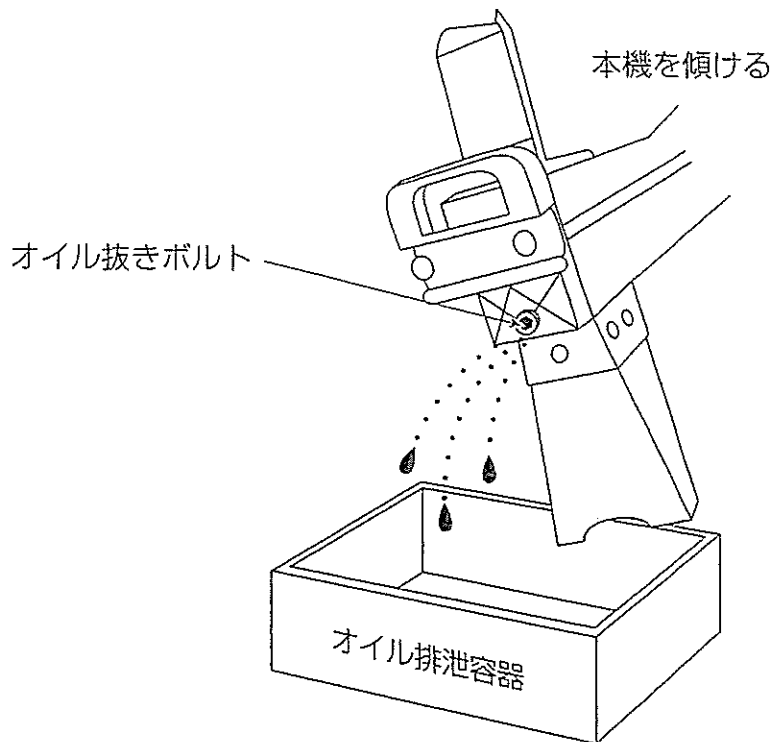
取っ手を持ち本機を立てる



注意

元の位置に戻す際は、モーターが重いので十分に注意して下さい。

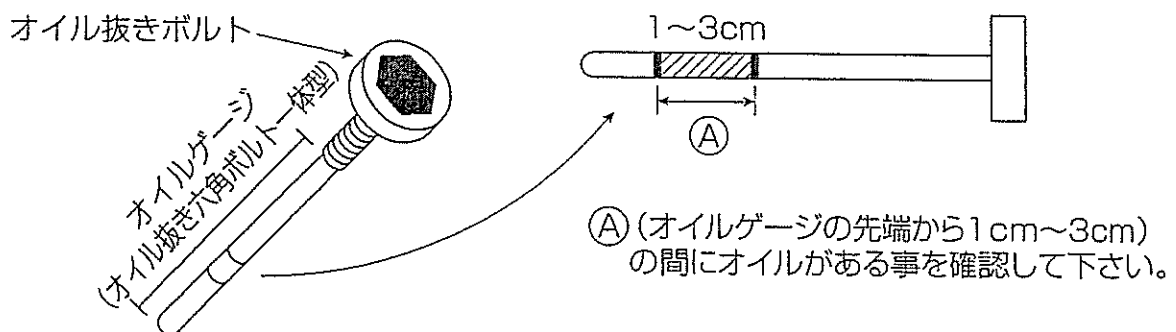
- 4 本機の中にあるオイルを空ける容器を本体の下に置き、本体を傾け、本機内のオイルを全て抜き取ります。



- 5 オイルをタンク内に注ぎます。
完全にオイルが本機から抜き出ている事を確認してからオイル抜きボルトを外し、じょうご等を使用して新しいオイルを注ぎ入れます。

※オイルの容量は3.5ℓです。それ以上は、オイルがあふれるので、入れないで下さい。

- 6 オイルゲージでオイル注入量が、先端から1～3cmの間 (A) にある事を確認して下さい。(本機を立てた状態で行って下さい。)



- 7 オイルゲージの汚れを布等で拭き取り、オイルゲージを差込み六角棒レンチで確実に締めて下さい。

注 オイル抜きボルトが確実に締まっていないとオイル漏れの原因となります。確実に締まっている事を確認してから作業を開始して下さい。

 **注意** 点検・修理

- ・本機の分解は絶対にしないで下さい。
- ・修理はお買い求めの販売店にご相談下さい。

■故障かな?と思ったら際は、まず、次のチェックリストにそって点検をおこなって下さい。

症 状	原 因	処 置
薪がうまく割れない	薪の置く位置が不適切	作業手順を参照して薪をセットしなおして下さい。
	薪のサイズ、硬さが本機の容量を超えている。	薪のサイズを本機容量サイズにしてから機械で割って下さい。
	オイルが漏れている。	修理を依頼して下さい。
	切断ブレードが鈍っている。	切断ブレードの先端部分をヤスリ、刃研ぎグラインダー等で研磨して下さい。
プッシュハンドの動きが悪く、不自然な音や揺れがある	油圧オイルがなくなり、油圧が上がらない。	オイルの点検をして下さい。12頁参照。
	空気が油圧システム内に入っている。	ブリーザーネジを3~4回、反時計回りに回す。(9頁参照)
オイルがモーター裏付近やオイル抜きボルト及び他の場所から漏れている	オイル抜きボルトが確実に締まっていない。	オイル抜きボルトを確実に締めて下さい。

※改良の為、断り無く、外観、仕様を変更する事が有ります。

保証書

型式	油圧式電動薪割り機 CWM-52	お買上げ日 (注) 年 月 日	保証期間 1年
お客様	ご住所：〒 お名前： 電 話： — —		
販売店	ご住所：〒 お名前： 電 話： — — 印		

(注) 欄に記入がない場合、またはそれに代わる資料の添付がない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間中でも下記の場合には有料修理となります。

- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・お買上げ後の落下、運送等による事故及び損傷。
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷
- ・一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ・本書の提示がない場合。
- ・本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入などがなく、あるいは、字を書き換えられた場合。
- ・本書は日本国内においてのみ有効です。

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼下さい。

本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

発売元

 **藤原産業株式会社**

本 社	〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目8-61	Tel.0794-83-3131(代) Fax.0794-83-0897
東京支店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
九州営業所	〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
札幌営業所	〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目2の1山忠ビル	Tel.011-841-6007(代) Fax.011-841-7139
仙台営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通り44-1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
中部営業所	〒471-0861 愛知県豊田市八幡町3-4	Tel.0565-34-3339(代) Fax.0565-36-1550
広島営業所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
匠台商品センター	〒675-1322 兵庫県小野市匠台11-2	Tel.0794-64-0300(代) Fax.0794-64-0316
F.K.D.C.	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目18の1 [顯利パーセク]	Tel.048-266-2811(代) Fax.048-269-9900

当社製品のご相談は…

情報サービスセンター Tel. **0794-86-8200** 〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1